

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 6 回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 4 9 (直通)				
開催日時		平成 3 0 年 1 0 月 1 1 日 (木) 1 9 時 ~ 2 1 時				
開催場所		中央公民館コミュニティ室				
出席者	委員	1 6 人 (別紙のとおり)				
	その他	4 人 (地域活性化事業交付金申請団体関係者)				
	事務局	2 人 (本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	2 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 事務連絡 ( 1 ) 次期総合計画・都市計画マスタープラン 中央地区まちづくり会議報告書について 3 議 題 ( 1 ) 地域活性化事業交付金について ( 2 ) 中央地区まちづくり懇談会について ( 3 ) その他 4 閉 会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

( 〇 は委員の発言、 △ は申請団体の発言、 ○ は事務局の発言 )

### 1 開会

徳田副会長あいさつ

### 2 事務連絡

( 1 ) 次期総合計画・都市計画マスタープラン中央地区まちづくり会議報告書について  
前回のまちづくり会議での意見を踏まえて修正した「次期総合計画・都市計画マスタープラン中央地区まちづくり会議報告書」を配付した。

### 3 議 題

( 1 ) 地域活性化事業交付金について

ア 平成30年度地域活性化事業交付金申請事業である2事業について、申請団体から説明を行った後、質疑応答を行った。

(ア)「中央地区情報 PortalSite プロジェクト」/ちゅうおうくらしねっと

主な意見・質疑

サイトの更新やアクセス解析は全て申請団体のメンバーが行うのか。

専門的な技術・知識を要するため、専門家に委託する費用を計上している。

委託先は信用に値するのか。不十分な成果物を納められたりはしないか。

業務を委託する際は、成果物の仕様を明確にして、相手方に指示する。

アクセス分析でサイト訪問者の属性情報など収集することが出来るのか。

匿名化されたデータとして管理・分析することが出来る。

分析結果をどのように生かすのか。

今後、コンテンツの充実に取り組むに当たって、発信者都合の一方的なものとならないよう、ニーズを把握するのに利用したいと思っている。

今後、自主運営を行う際、広告収入も財源として期待することになると思うが、

アクセス分析によるニーズ把握はここでも役立つだろう。

3年間で自立を考えており、分析結果は大いに活用したいと思っている。

継続的に必要になる費用はどの程度か。

年間5万円程度と見込んでいる。

収入の見込みは立っているのか。

現時点のアクセス状況で、継続的な経費の半額程度は賄えると考えてい

る。今後のコンテンツ充実に併せて、地元企業などの協力も期待したい。

委員の皆さんも、協力企業などに心当たりがあれば、紹介をお願いしたい。

アクセス解析を専門家に委託するというが、分析は申請団体が自ら行うべきものではないのか。申請団体は何をするのか。

サイト訪問者の属性情報の収集と集積は、一定の専門性があり、私達には出来ない所以で専門家にお願いする。私達は、それらの情報を活用して、ニーズに即した地域の情報を発信するため、記事内容の収集・掲載を行う。専門的な知識が不足しているために、期待する形で成果物が得られない、成果物の検証が出来ないといったことが危惧される。

私達で対応できない専門性を補う意味で、専門家に委託する。また、日々のアクセス状況などを確認し、成果物の検証も行っている。

交付金の使用が有意義なものになるよう、注意してもらいたい。

ご高齢の方向けの記事を掲載した際、遠方にお住まいのお子さん、お孫さんから、中央地区の情報を知ることが出来て助かったという声を耳にした。

掲載希望の記事、情報の提供をお願いしたい。

#### 結果

申請内容のとおり、事業を推進することで了承された。

### (イ)「西門アクティベーションプロジェクト」/西門活性化協議会

#### 主な意見・質疑

昨年度、地域活性化事業交付金を受けて事業を行った西門浪漫会議とは違う団体なのか。

協力いただけるところは、連携しながら事業等を行うつもりだが、名称だけでなく構成メンバーが異なる別の団体である。

申請団体の代表者は、西門周辺で育った方か。

市内他地区に在住しており、西門商店街に事務所を構えている。

直近のイベントは10月27日(土)に実施を予定しているようだが、間に合うのか。周知は十分に行えるのか。

9月29日(土)にイベントを実施した際は、限定的な周知に止まったがそれなりの集客を得ており、手ごたえを感じている。イベント実施まで期間が短いのは確かだが、間に合う見込みでいる。周知については、必ずしも直近のイベントのみに焦点を絞ってはならず、11月、12月のイベントに向けて、充実を図っていく。

昨年の西門浪漫会議の事業では、反省点として地元周知が不十分だったことがあげられる。周知範囲等についてより詳しく教えて欲しい。

直近では、さがみはらフェスタのブースで、来場者向けに開催周知を行う。また、本イベントでは、出演を依頼しているアーティスト達もある程度知名度が高く、発信力を持っているため、周知の面で期待している。しかしながら、運営面も含めて、着実に規模・集客を拡大していきたいと思っ

おり、地元自治会等へのアプローチを優先している。

12月のイベントが、もみの木コンサートという既存の地域行事と重なってしまっている。12月のイベント内容を現在計画している範囲で教えて欲しい。

10時から17時までの予定で、物販や屋外ライブなどを計画している。実施時間は重なっているようだが、ネガティブに捉える必要は無いと考えており、イベント間で生じる人の行き来にも期待したいと思う。

単価が1万円を超える財産には、その管理や交付率に制限が加わると理解しているが、今回の申請内容についてはどのように扱われるのか。

オブジェ制作費が該当すると判断している。バルーンによるアーケードの装飾は、消耗品に該当する物品を使って飾り付けるものであり、使いまわせるほど耐久性の高いものでもないと承知している。

どのようなものをどの程度の期間飾り付けておくのか。

一般的なビーチボール程度のサイズのバルーンをアーケードに複数ぶら下げ、LEDライトで照らし出す予定である。10月のイベントに間に合うように飾りつけ、12月のイベント実施まで残しておけたらと思っている。ある程度の期間飾り付けておくことで、認知度が増し、普段立ち寄ってもらえないような若い人に立ち寄ってもらうきっかけにもなると考えている。

イベント当日は、商店街の中のシャッターが閉じている店舗が開くのか。

本事業を通じて、西門商店街を訪れる人が増え、その結果として開業する店舗が増えていくといった展望を持っている。イベントのために臨時店舗を開店するという考えは持っていない。

地元自治会や商店街との連携は十分に取れているのか。

地元自治会とは夏祭りでも交流を持っており、会長をはじめとした方々に協力を依頼している。商店街についても、一般社団法人西門商店街のバックアップを受けている。

事業の成果をどのように測るのか。交付金からの自立という意味でも、何を持って成功と考え、どのような基準で結果を省みるのかといった拠り所は必要だろう。

単年度の目標ではないが、西門商店街のエリアに1万人の人が集まるような状況を作り上げていきたいと考えている。

イベントに際して、駐車場を設ける予定はあるか。

特別に設ける予定は無い。近隣の既存駐車場を案内する。

イベント時、多くの人が集まるとトイレの問題も出てくると思うがどのような準備をするつもりか。

商店街の協力の下、トイレを確保する。

継続性という目線で、費用をどのように確保していくのか。本来は商店街の事

業主達がもっと積極的に担っていくべきことのように思う。  
継続的に必要になる費用については、イベント収益や協賛金などで賄っていく。西門商店街に訪れる人が増えていけば、費用面も含め、商店街主導での取り組みとして続いていこう。本事業はそういったもののきっかけになればと思っている。

西門エリアの相模原側だけに限定せず、道路を挟んだ矢部側にもチラシを配るなど、広く地域を巻き込んでもらいたい。また、イベント当日の出し物など、若者向けのものに偏っているような印象を受ける。高齢の方も含んだ、幅広い世代の楽しめるような事業にしてもらいたい。

#### 結果

地域との連携に注力し、周知においても既存の地域媒体を活用するなどの工夫をしてもらいたいという意見を付して、事業を推進することで了承された。

イ 平成30年度地域活性化事業交付金の中央地区における申請状況を事務局から説明した。また、地域活性化事業交付金の執行予定調査について、全4事業158万9千円（見込み含む）で回答することが了承された。

#### (2) 中央地区まちづくり懇談会について

前回のまちづくり会議での意見を踏まえて修正し、確定した懇談会テーマを事務局から概説した。また、懇談会当日の資料についても事務局から説明し、司会の選任を行った。

#### 結果

懇談会当日の提案時等に留意してもらいたい点などは、各委員から直接提案者に伝えることとなった。

また、まちづくり懇談会当日の司会は、岡本副会長に決定した。

#### (3) その他

- ・事務局から、前回のまちづくり会議で配付した区版広報に関するアンケート調査について、再度提出の依頼を行った。
- ・澤畔委員から、中央高齢者支援センター便りを配付し、案内を行った。
- ・布施委員から、中央公民館の家庭教育支援講座「子育てアラカルト」について、チラシを配付し、案内を行った。

#### 4 閉会

## 第6回中央地区まちづくり会議(10月11日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一	会長	中央地区自治会連合会	欠席
2	鳥海 千秋		中央地区自治会連合会	出席
3	中川 清一		中央地区自治会連合会	欠席
4	徳田 文夫	副会長	中央地区社会福祉協議会	出席
5	鎌倉 轟		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
6	小金澤 近雄		中央地区民生委員児童委員協議会	欠席
7	篠崎 久誉		中央地区民生委員児童委員協議会	欠席
8	今井 千春		中央地区老人クラブ連合会	欠席
9	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	出席
10	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
11	島村 春男		中央地区防犯協会	出席
12	山田 章		交通安全協会	欠席
13	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	出席
14	中西 智子		中央小学校PTA	欠席
15	力石 武史		弥栄小学校PTA	欠席
16	佐藤 匠		富士見小学校PTA	出席
17	岡本 和茂	副会長	中央公民館	出席
18	浦上 裕史		中央地区内商店街	欠席
19	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	出席
20	代田 昭		地域有識者	出席
21	布施 初子		公募委員	出席
22	倉澤 良明		公募委員	出席
23	木口 榮		公募委員	出席
24	小澤 隆宏		公募委員	出席
25	井之上 久		公募委員	出席